

応急危険度判定講習会 演習1 判定資料

木造 調査表(手帳P. 99)

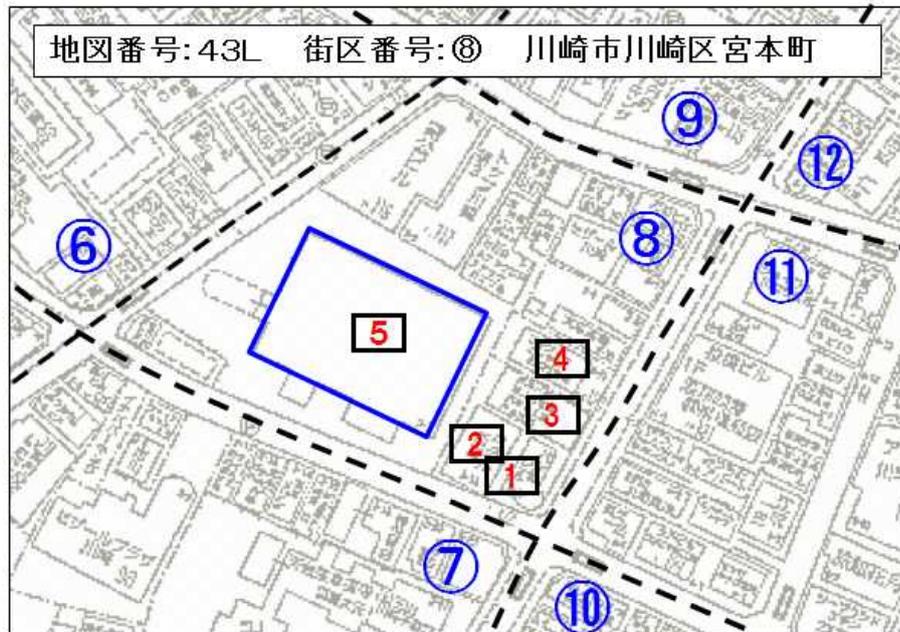
整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目 整理番号

調査者氏名(都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)



- ・整理番号
 - ・調査日時
 - ・調査者氏名
(都道府県/判定士No.)
- を記入します。

街区マップ



整理番号 **43L-⑧-5** 調査日時 0 月 00 日 午前・**午後** 00 時 調査回数 _____ 回目 整理番号

調査者氏名(都道府県/No) **神奈川 建 男** (**神奈川** / _____)
西部 築 次 (**神奈川** / _____)

木造 調査表 (手帳P. 99)

建築物概要

1 建築物名称	_____	1.1 建築物番号	_____	建築物番号	_____
2 建築物所在地	_____	2.1 住宅地図整理番号	_____	住宅地図整理番号	_____
3 建築物用途	1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 ()			3	_____
4 構造形式	1.在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ツバノト) 3.プレファブ 4.その他 ()			4	_____
5 階数	1.平屋 2.2階建て 3.その他 ()			5	_____ 階
6 建築物規模	1階寸法 約 ア _____ m × イ _____ m			ア	_____ m
				イ	_____ m



- 1 建築物名称 (1.1 建築物番号)
- 2 建築物所在地 (2.1 住宅地図整理番号)
- 3 建築物用途
- 4 構造形式
- 5 階数
- 6 建築物規模

を記入します。

建築物概要

1 建築物名称	山田 一郎	1.1 建築物番号	⑧-5	建築物番号	⑧-5
2 建築物所在地	宮本町	2.1 住宅地図整理番号	43L	住宅地図整理番号	43L
3 建築物用途	① 戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所 7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場 12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 ()			3	1
4 構造形式	① 在来軸組構法 2.枠組(壁)構法(ツバノト) 3.プレファブ 4.その他 ()			4	1
5 階数	1.平屋 ② 2階建て 3.その他 ()			5	2 階
6 建築物規模	1階寸法 約 ア 6 m × イ 9 m			ア	6 m
				イ	9 m

地図番号: 43L 街区番号: ⑧ 川崎市川崎区宮本町



調査1 「一見して危険と判定される」か (手帳P. 49)



調査3 ①瓦 (手帳P. 57)

瓦に落下のおそれがある



調査3 ②窓枠・窓ガラス(手帳P.57)



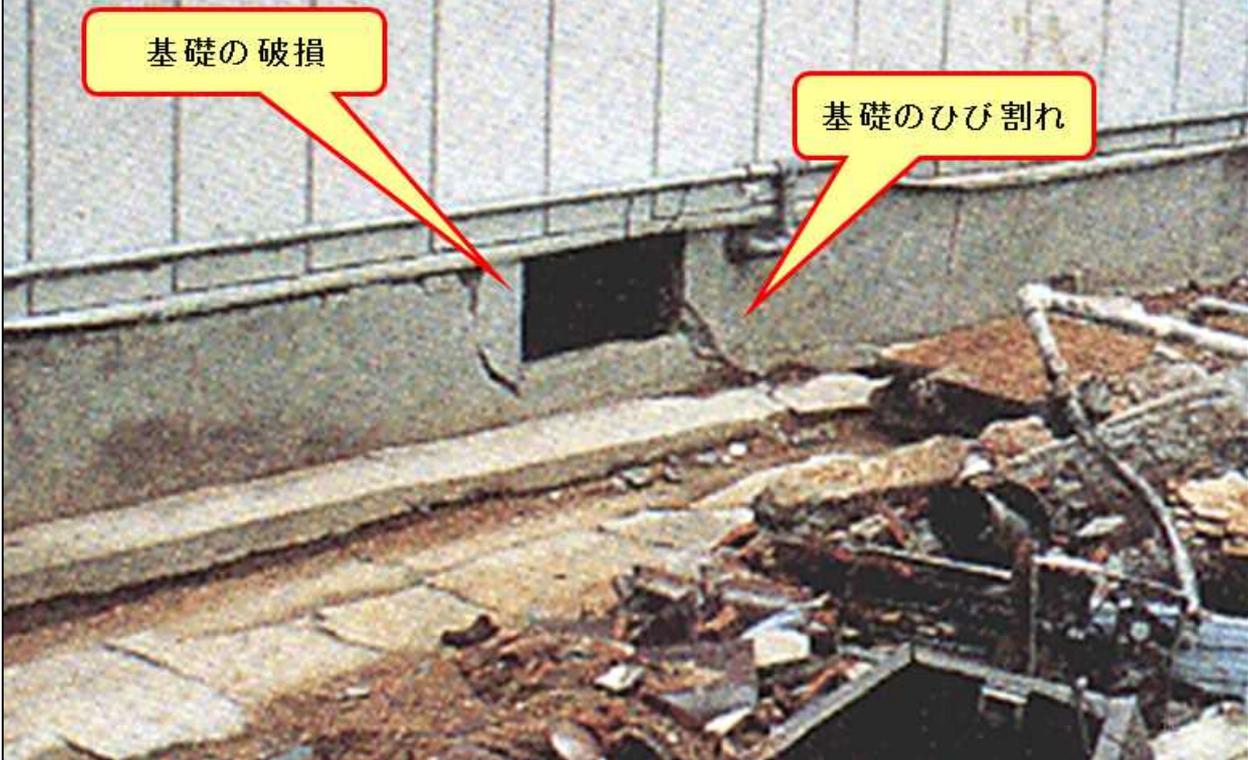
1階窓枠の歪み
窓が脱落するおそれがある

調査3 ③外装材 湿式の場合(手帳P.56)



著しい剥離や脱落

調査2 ③基礎の被害(手帳P.58)

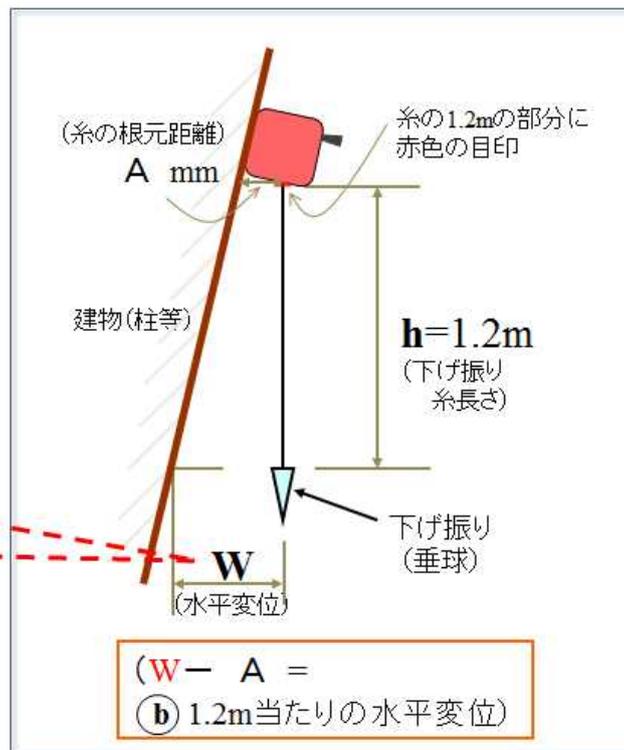


調査2 ④建築物の1階の傾斜

判定手帳P.55

①の表

外壁からの距離を測った結果、
W mm



調査2 ⑤壁の被害(手帳P. 64、58)



下地の木ずりは損傷なし
軸組壁に変形等はなし



注記欄に記入し、
建物に貼り付ける

心身危険度判定結果

調査済

INSPECTED

◆この建築物の被害程度は小さいと判定されました
◆建築物は使用可能です

建築物名称

法記:

管理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話

心身危険度判定結果

要注意

LIMITED ENTRY

◆この建築物に立ち入る場合は十分注意して下さい
◆応急的に補修する場合には専門家にご相談下さい

建築物名称

法記:

管理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話

心身危険度判定結果

危険

UNSAFE

◆この建築物に立ち入ることは危険です
◆立ち入る場合は専門家に相談し、応急補修を早急にしてください

建築物名称

法記:

管理番号

判定日時 月 日 午前・午後 時現在

災害対策本部 電話

演習 1 調査表 (赤枠の部分以外は記入不要)

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

木

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目

調査者氏名 (都道府県/No) _____ (_____ / _____)
 _____ (_____ / _____)

建築物概要

1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____

2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____

3 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他()

4 構造形式 1. 在来軸組構法 2. 枠組(壁)工法(ツバハイワ) 3. プレファブ 4. その他()

5 階数 1. 平屋 2. 2階建て 3. その他()

6 建築物規模 1階寸法 約 ア _____ m × イ _____ m

調査 調査方法: (1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

整理番号 _____

建築物番号 _____

住宅地図整理番号 _____

3 _____

4 _____

5 _____ 階

ア _____ m

イ _____ m

調査方法 _____

1

1 一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり	① <input checked="" type="checkbox"/>
② 構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下	② <input checked="" type="checkbox"/>
③ 基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい(被害あり)	③ _____
④ 建築物の1階の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60~1/20	3. 1/20超	④ _____
⑤ 壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥離	3. 落下の危険有り	⑤ _____
⑥ 腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損	⑥ <input checked="" type="checkbox"/>
危険度の判定	1. 調査済み全部Aランクの場合(要 内観調査)	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定 _____

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
① 瓦	1. ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損	① _____
② 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り	② _____
③ 外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離	③ _____
④ 外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破損	④ <input checked="" type="checkbox"/>
⑤ 看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り	⑤ <input checked="" type="checkbox"/>
⑥ 屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜	⑥ <input checked="" type="checkbox"/>
⑦ その他()	1. 安全	2. 要注意	3. 危険	⑦ <input checked="" type="checkbox"/>
危険度の判定	1. 調査済み全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定 _____

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

総合判定

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

演習 1 解答例

木造建築物の応急危険度判定調査表

集計欄は数字で記入

木

整理番号 43L-⑧-5 調査日時 9 月 20 日 午前・午後 3 時 調査回数 回目
 調査者氏名 (都道府県/N o) 氏名 (神奈川 /)
 (/)

建築物概要

1 建築物名称 山田 一郎 1.1 建築物番号 ⑧-5
 2 建築物所在地 宮本町 2.1 住宅地図整理番号 43L
 3 建築物用途 1. 戸建て専用住宅 2. 長屋住宅 3. 共同住宅 4. 併用住宅 5. 店舗 6. 事務所
 7. 旅館・ホテル 8. 庁舎等公共施設 9. 病院・診療所 10. 保育所 11. 工場
 12. 倉庫 13. 学校 14. 体育館 15. 劇場、遊戯場等 16. その他()
 4 構造形式 1. 在来軸組構法 2. 枠組(壁)工法(ツバイフネ) 3. プレファブ 4. その他()
 5 階 数 2. 2階建て 3. その他()
 6 建築物規模 1階寸法 約ア 6 m×イ 9 m

整理番号 43L-⑧-5
 建築物番号 ⑧-5
 住宅地図整理番号 43L
 3 1
 4 1
 5 2 階
 ア 6 m
 イ 9 m
 調査方法 1
 1 レ

調査 調査方法 (1. 外観調査のみ実施 2. 内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判断される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1. 建築物全体又は一部の崩壊・落階	2. 基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3. 建築物全体又は一部の著しい傾斜	4. その他()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
① 隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1. 危険無し	2. 不明確	3. 危険あり	① <u>1</u>
② 構造躯体の不同沈下	1. 無し又は軽微	2. 著しい床、屋根の落ち込み、浮き上がり	3. 小屋組の破壊、床全体の沈下	② <u>1</u>
③ 基礎の被害	1. 無被害	2. 部分的	3. 著しい(被害あり)	③ <u>2</u>
④ 建築物の1階の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60~1/20	3. 1/20超	④ <u>2</u>
⑤ 壁の被害	1. 軽微なひび割れ	2. 大きな亀裂、剥離	3. 落下の危険有り	⑤ <u>1</u>
⑥ 腐食・蟻害の有無	1. ほとんど無し	2. 一部の断面欠損	3. 著しい断面欠損	⑥ <u>1</u>
危険度の判定	1. 調査済み全部Aランクの場合(要 内観調査)	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定 <u>2</u>

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク	
① 瓦	1. ほとんど無被害	2. 著しいずれ	3. 全面的にずれ、破損	① <u>3</u>
② 窓枠・窓ガラス	1. ほとんど無被害	2. 歪み、ひび割れ	3. 落下の危険有り	② <u>3</u>
③ 外装材 湿式の場合	1. ほとんど無被害	2. 部分的なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離	③ <u>3</u>
④ 外装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に隙間が見られる	3. 顕著な目地ずれ、板破損	④ <u>レ</u>
⑤ 看板・機器類	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 落下の危険有り	⑤ <u>1</u>
⑥ 屋外階段	1. 傾斜無し	2. わずかな傾斜	3. 明瞭な傾斜	⑥ <u>1</u>
⑦ その他()	1. 安全	2. 要注意	3. 危険	⑦ <u>レ</u>
危険度の判定	1. 調査済み全部Aランクの場合	2. 要注意 Bランクが1以上ある場合	3. 危険 Cランクが1以上ある場合	判定 <u>3</u>

総合判定 (調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑) 2. 要注意(黄) 3. 危険(赤)

総合判定

3

コメント (構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

- ・ 外観調査のみ実施 ・ 瓦が落下する危険性があります。
- ・ 窓枠がゆがみ、窓が脱落するおそれがあるため注意が必要です。
- ・ 外装材が著しく剥落しており、余震等により更に落下する危険があります。
- ・ 基礎の一部が破損しています。 建築物が傾斜しており注意が必要です。

コメントは判定ステッカーの注記と同じとする。